

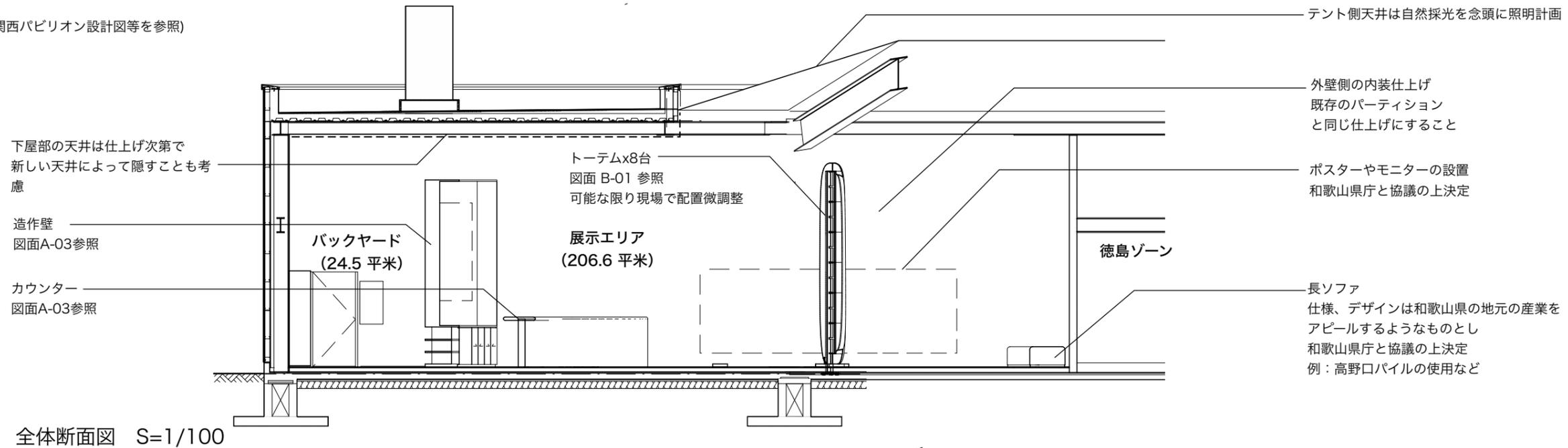
# 展示設備に係る基本設計説明書及び基本設計図面

2023年 7月 31日 株式会社 Tangent Japan

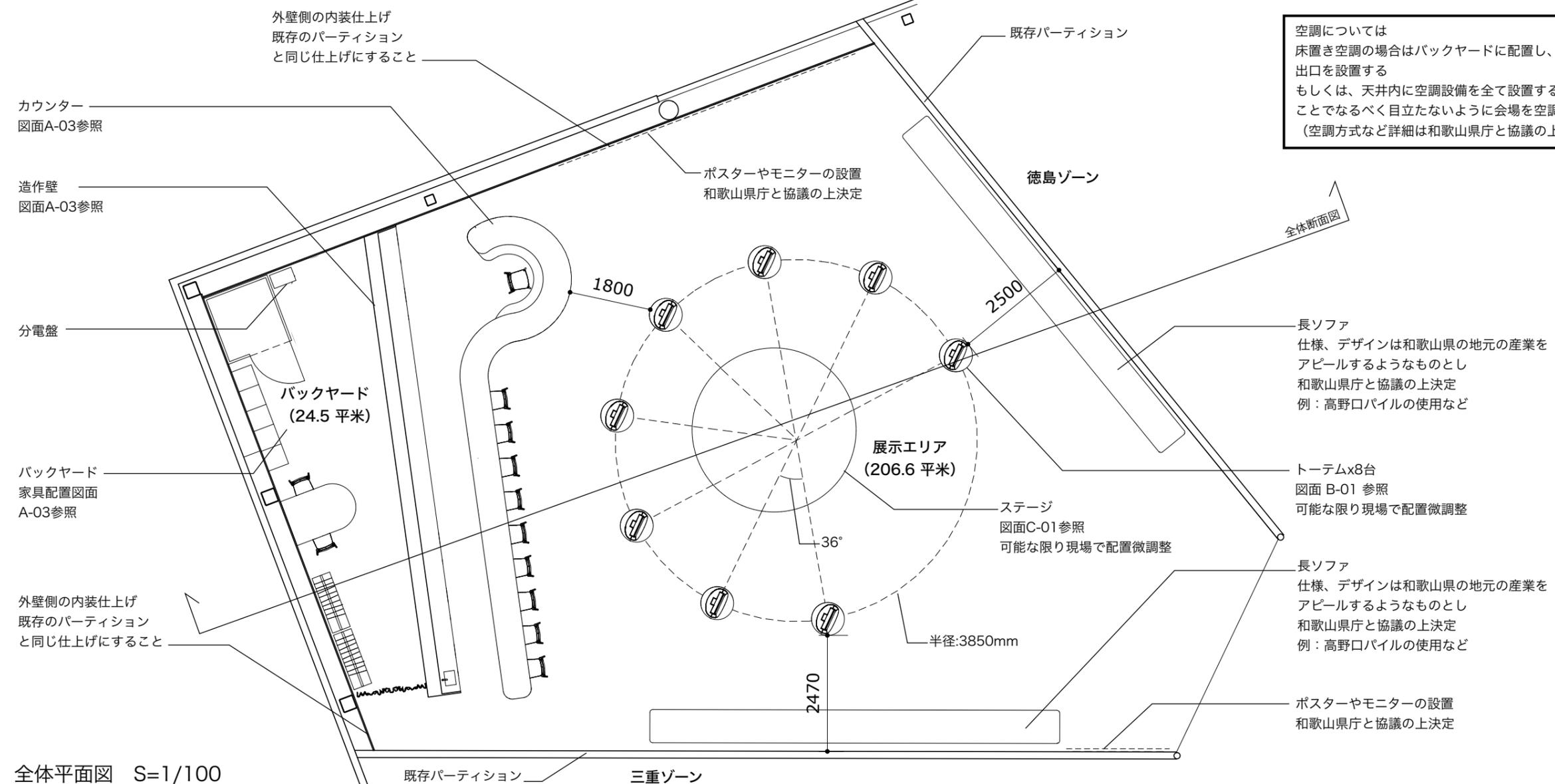
図面表

図面番号	図面名	縮尺
A-01	全体平面図 全体断面図	1:100
A-02	全体アイソメトリック図	-
A-03	カウンター・展示壁面詳細図	1:50
A-04	会場全体イメージ図	1:50
B-01	トーテム詳細図	1:20, 1:5
C-01	ステージイメージ図	-
D-01	特記事項	-

既存建築部分  
(詳細は最新の関西パビリオン設計図等を参照)

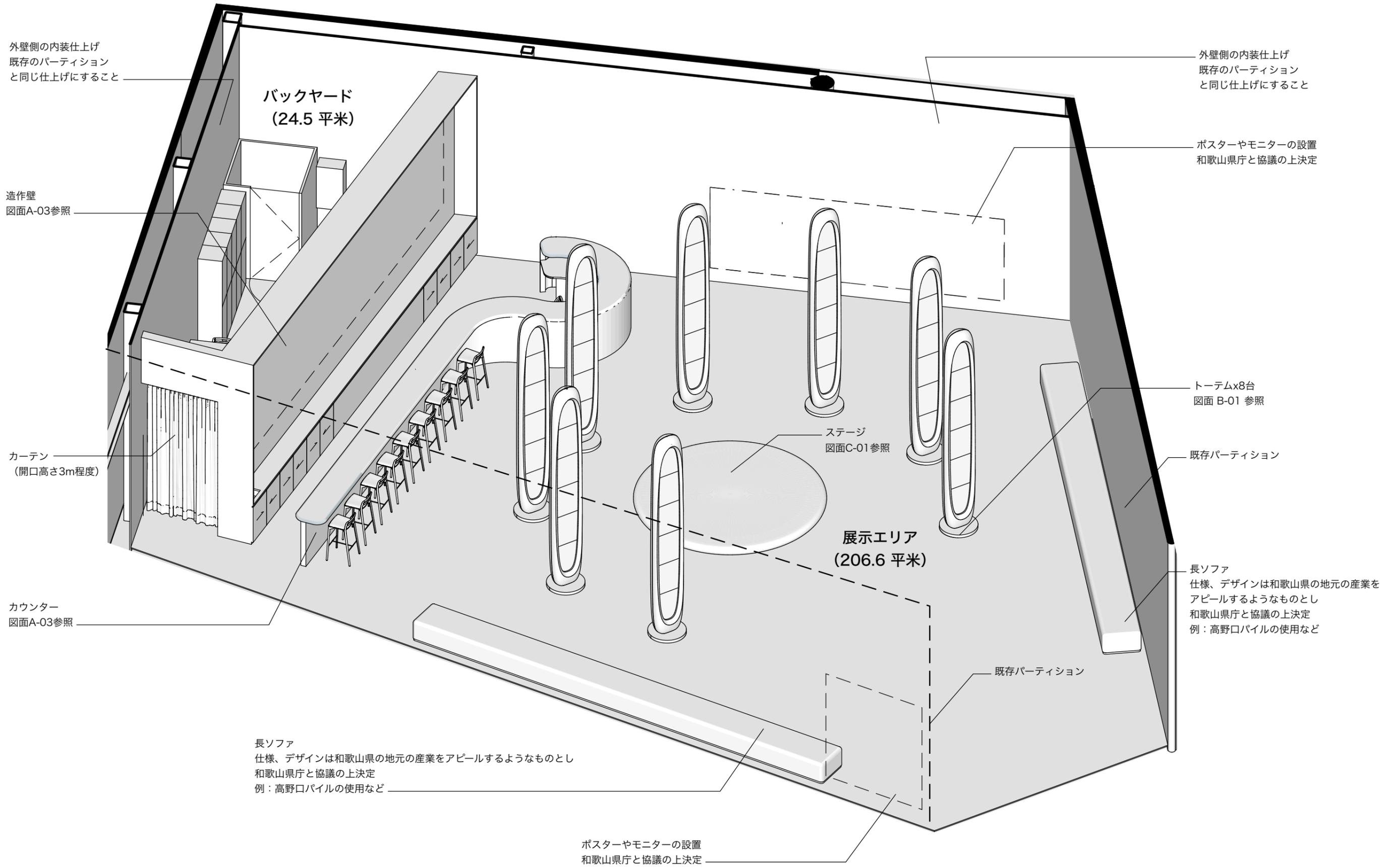


全体断面図 S=1/100

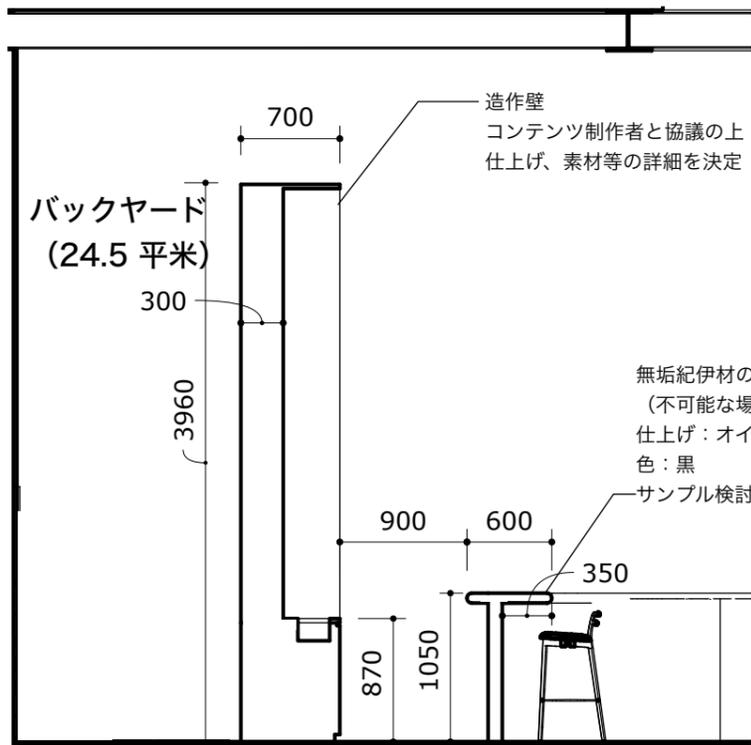


全体平面図 S=1/100

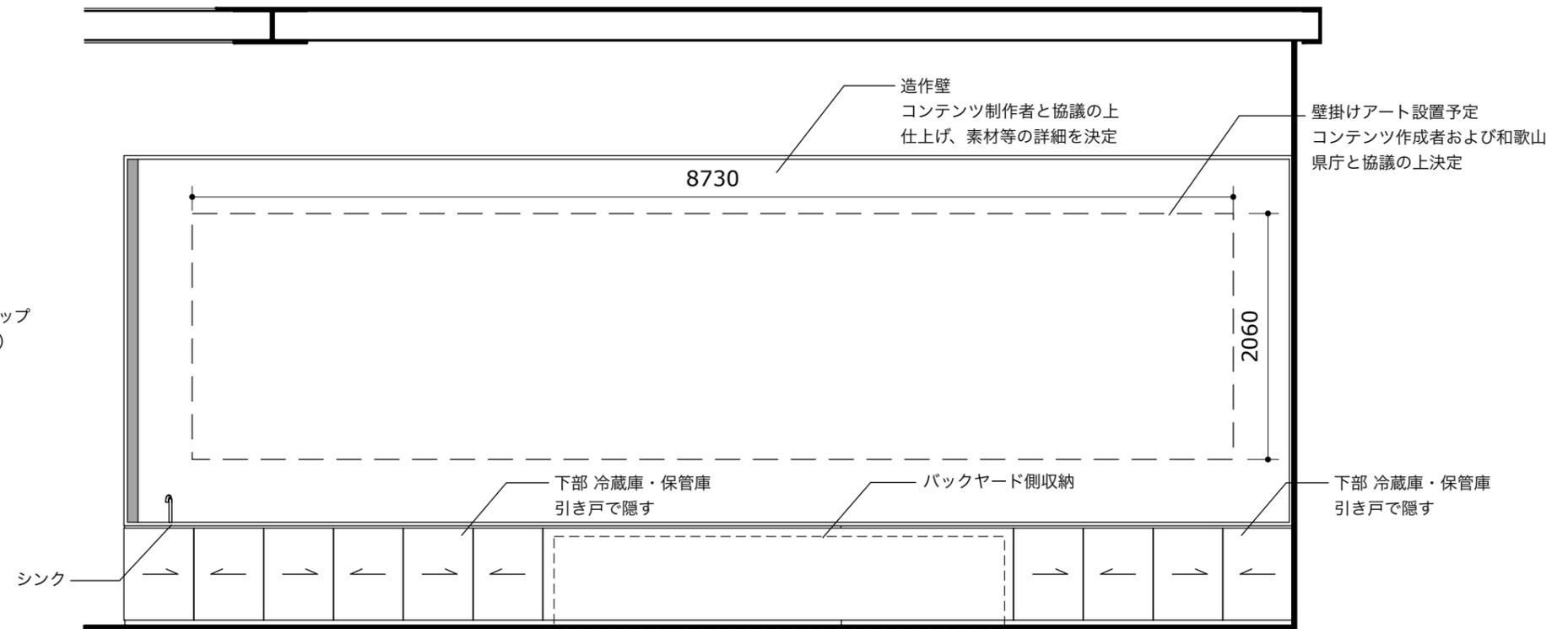
空調については  
床置き空調の場合はバックヤードに配置し、壁面内にダクトと吹出口を設置する  
もしくは、天井内に空調設備を全て設置すること  
なるべく目立たないように会場を空調する  
(空調方式など詳細は和歌山県庁と協議の上決定)



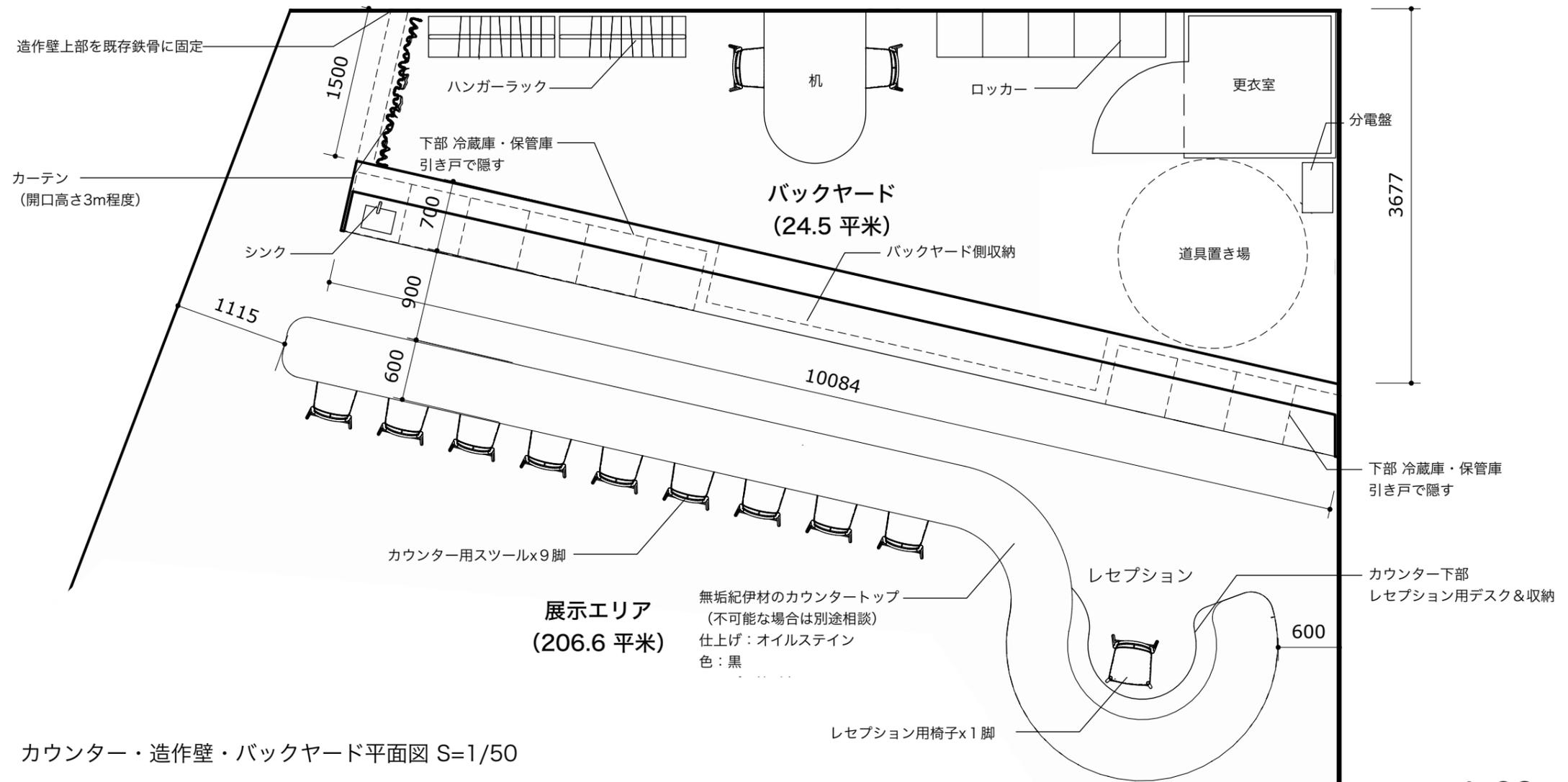
全体アイソメトリック図



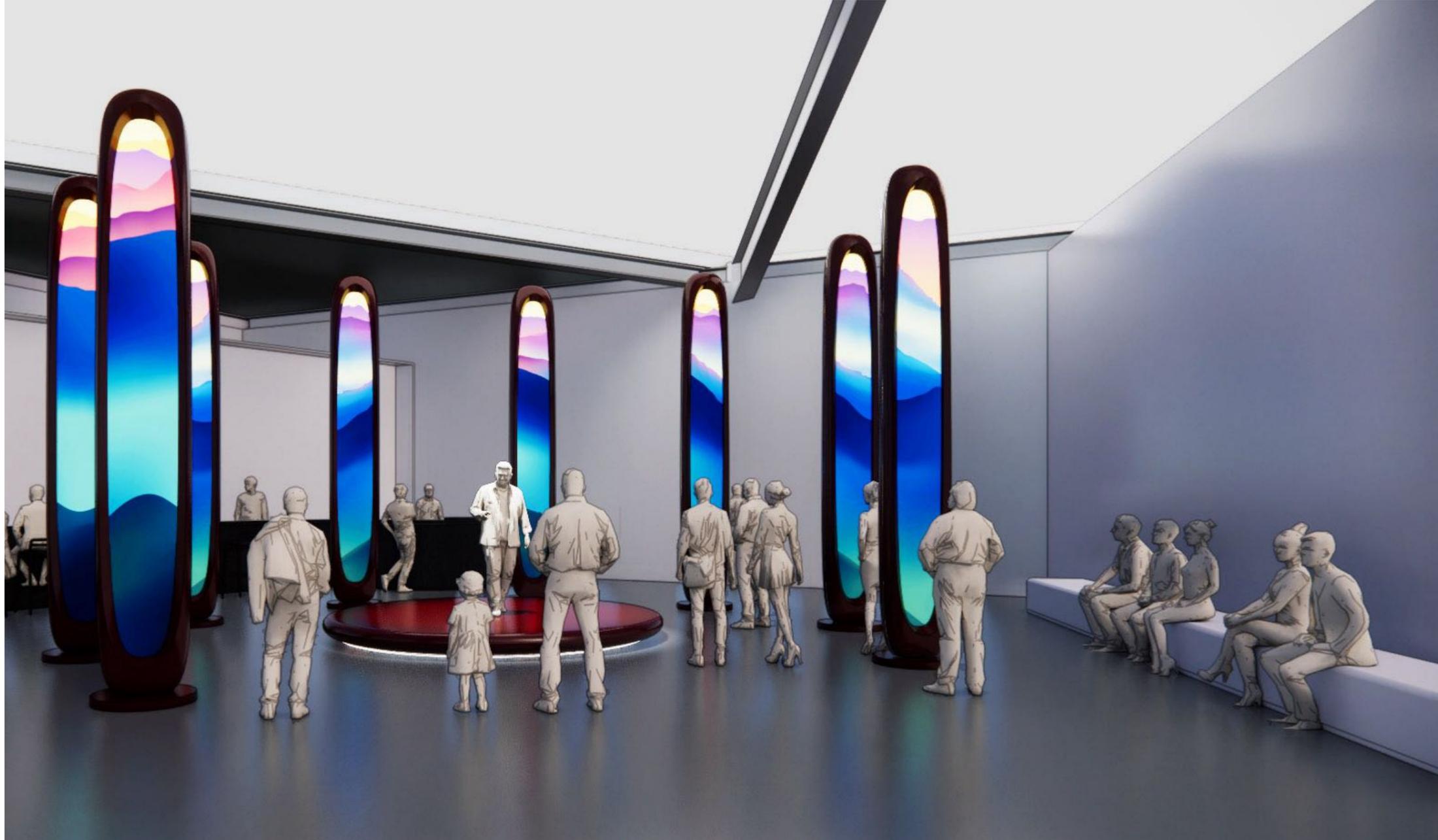
造作壁・カウンター断面図 S=1/50



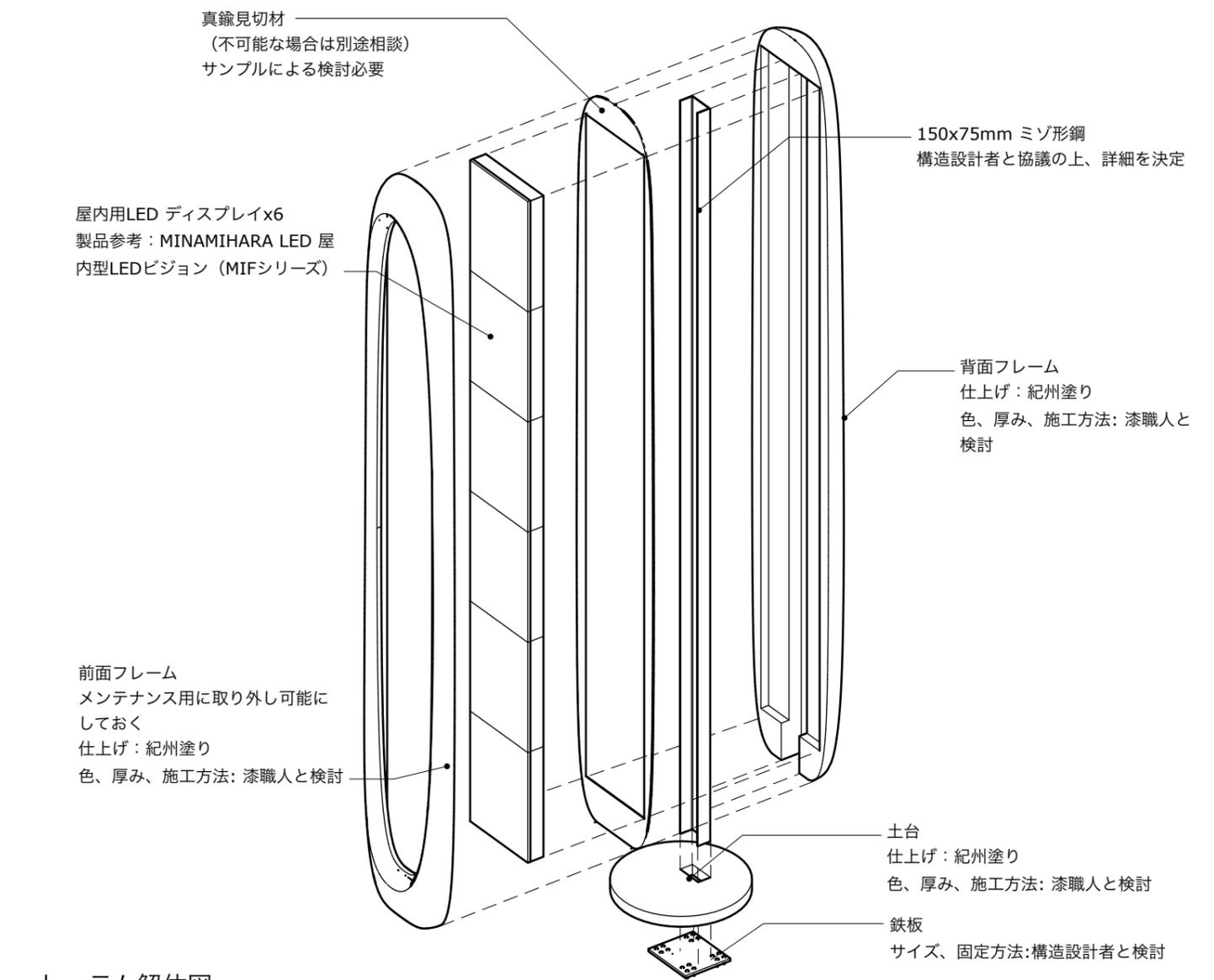
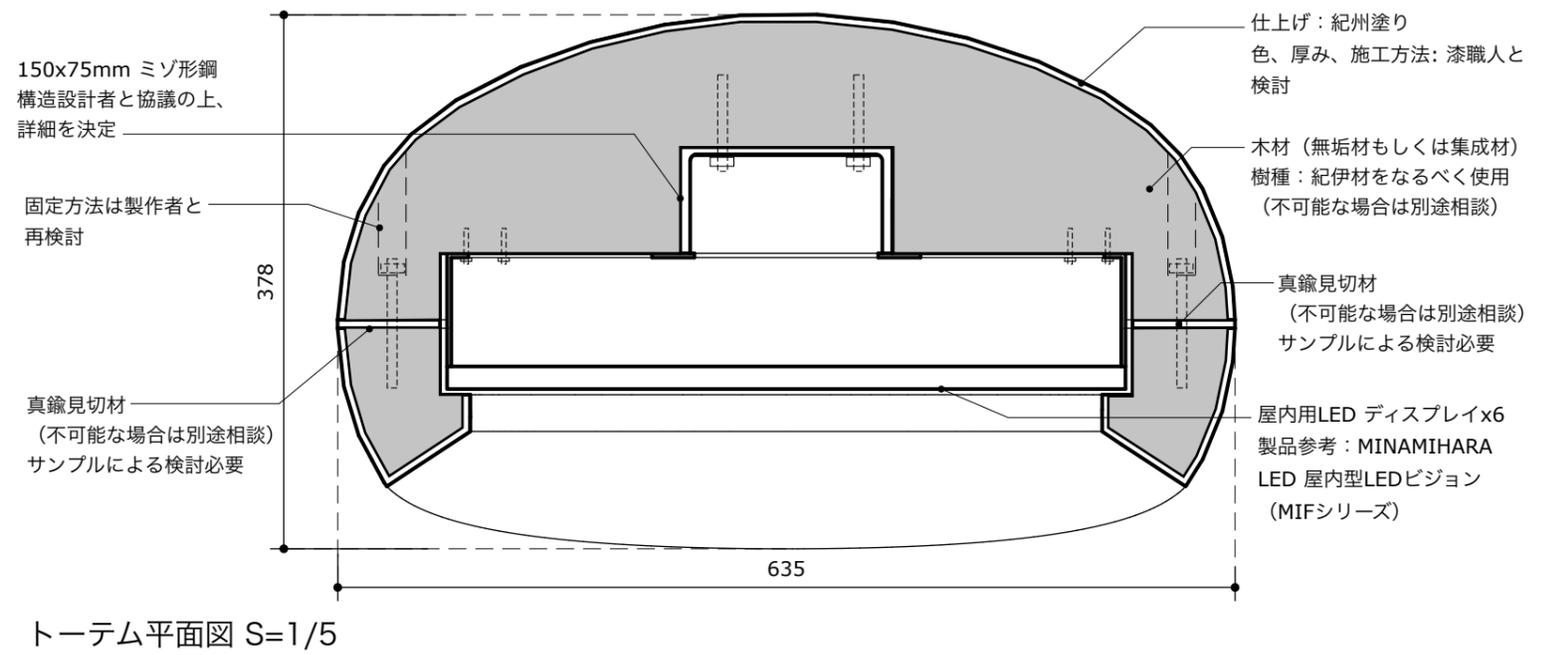
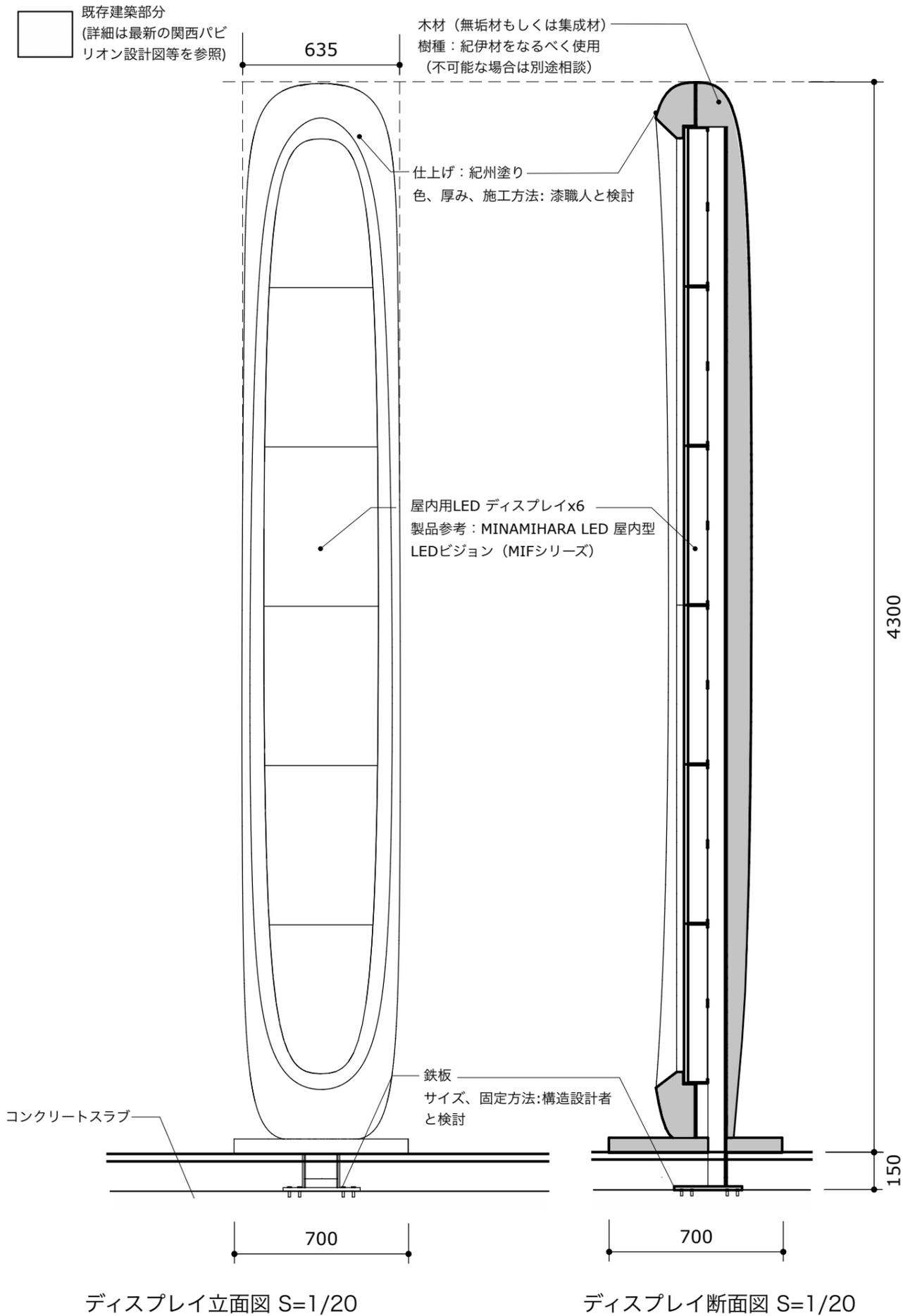
造作壁立面図 S=1/50

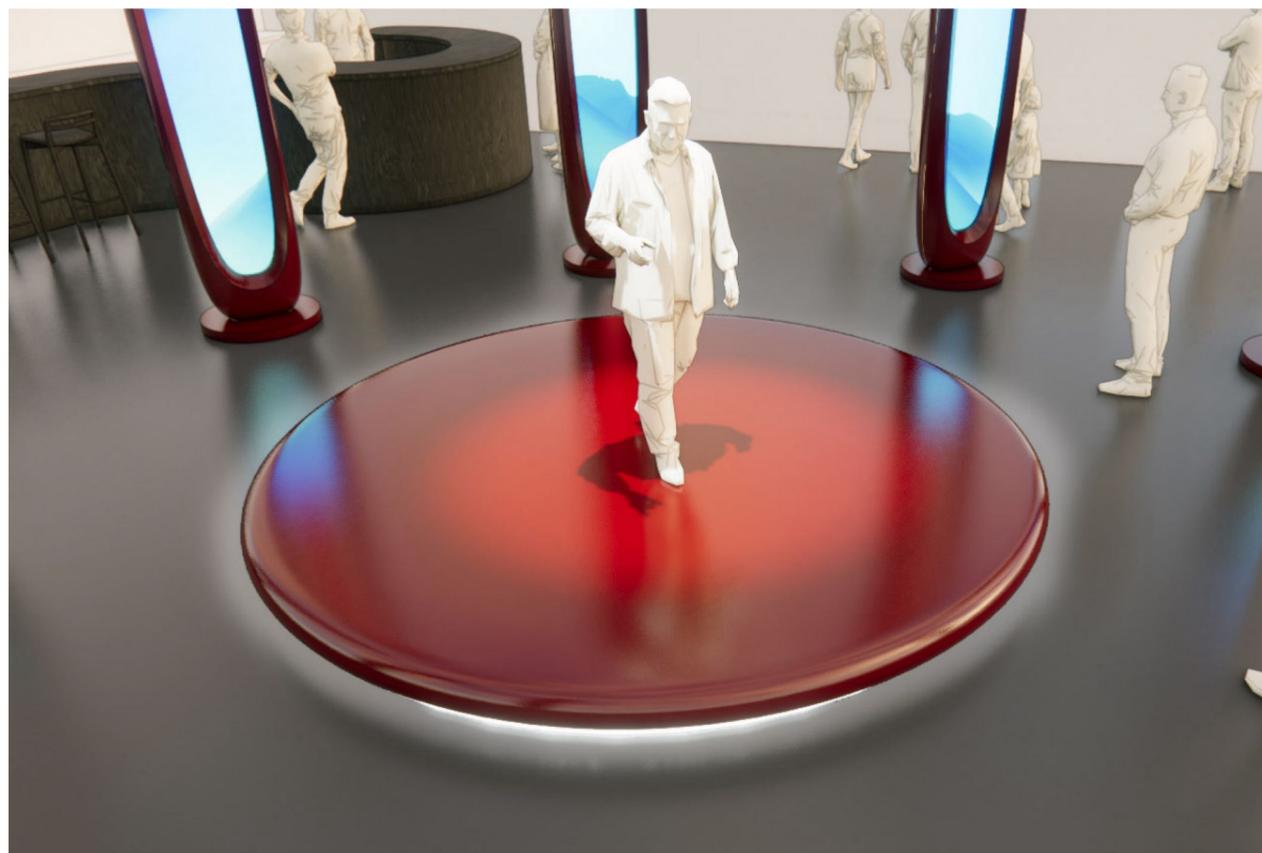


カウンター・造作壁・バックヤード平面図 S=1/50

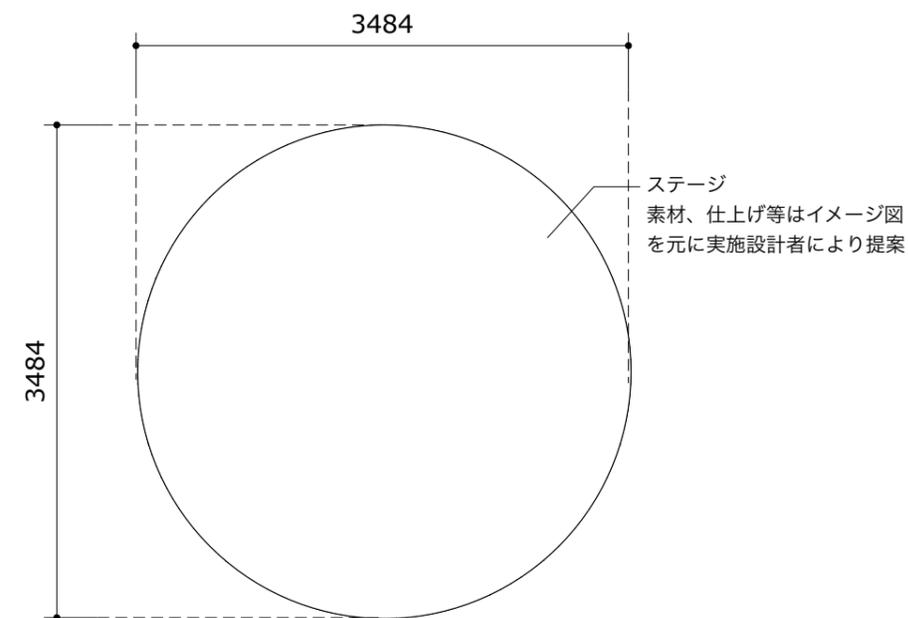


全体イメージ図

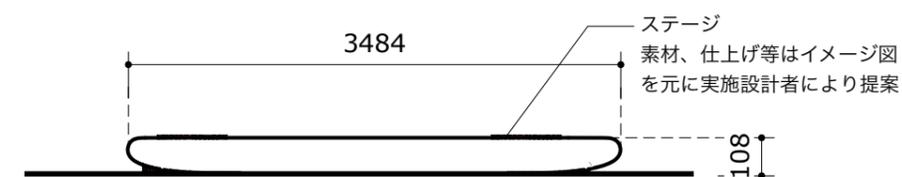




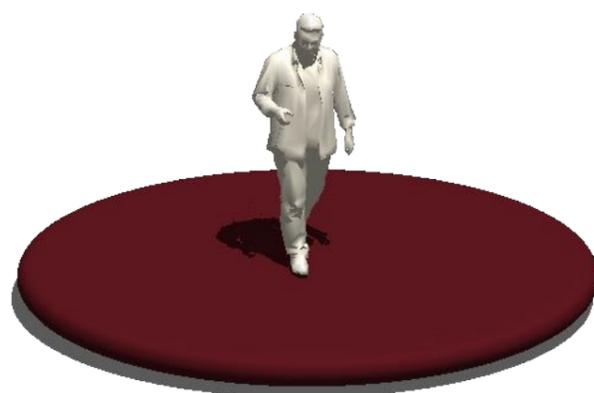
ステージイメージ図



ステージ平面図 S=1/50

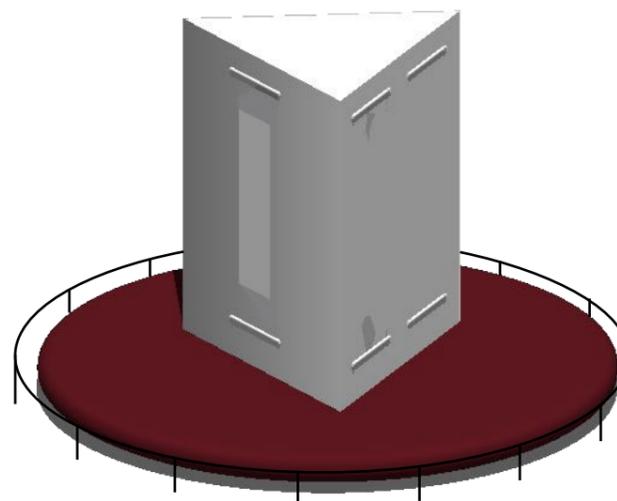


ステージ断面図 S=1/50



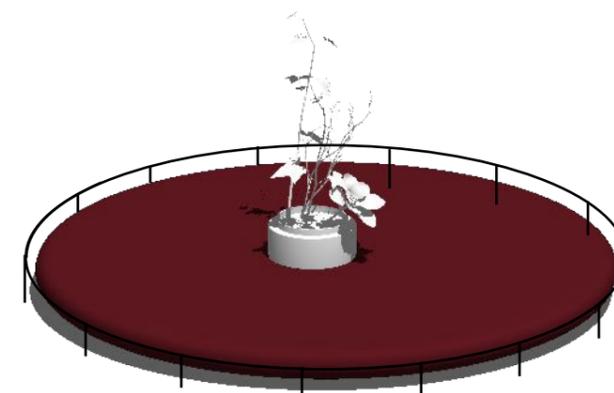
ステージ使用イメージ1

プレゼンテーションやパフォーマンスなどに利用



ステージ使用イメージ2

掛け軸や絵画などの展示に利用する際の柱形のパーテーションも必要  
 パーテーションを利用しない時に、取り付ける用の穴などがなるべく目立たないよ  
 うな配慮が必要  
 また、レールを周囲に取り付ける必要あり



ステージ使用イメージ3

生花や彫刻の展示などに利用する際もイメージ2と同様のレールが必要となる

## 特記事項

- 1) 図中、記載されている寸法は概略寸法であるので、製作以前に施工図を提出し和歌山県庁の承認を受けること
- 2) 既存下屋部分の天井、会場全体の床、外壁側の内装仕上、ステージ等はA-04の全体イメージ図と、関西パビリオン基本設計図等を参考に実施設計者によって素材と仕上を提案、和歌山県庁と和歌山ゾーン構築総合ディレクターと協議の上決定
- 3) トーテムの紀州塗りは、スプレー塗装で漆に似せた風合いの仕上げを塗装職人と相談の上決定  
また蒔絵を施すかどうかなど、和歌山県庁と和歌山ゾーン構築総合ディレクターと協議の上で最終的なデザインを決定する
- 4) 紀州塗りは、和歌山県海南市黒江地区を中心に生産されている紀州漆器において用いられる技法であり、その歴史を踏まえて和歌山の魅力を表現するものであるため、当該技法に精通した職人により仕上げること。
- 5) 照明、設備計画は、和歌山県庁とコンテンツ制作者と協議の上、実施設計者により提案  
特に以下の点に注意  
①8本のトーテムの映像が連動することができるようなシステムの設計とそれに伴う設備をバックヤードに配置。また、パソコンを用いて各トーテム映像コンテンツの入れ替え、再生が柔軟にできるようにすること  
②各トーテムの前に立つ観客に向け超指向性スピーカーを配置、またトーテムの映像とスピーカーからの音声が連動できるようにすること  
③各配線、配管は基本的に床下あるいは壁内に納め、かつメンテナンスができるようにすること
- 6) 造作壁の冷蔵庫やシンクなどの詳細は和歌山県庁と協議の上、実施設計者が提案
- 7) 置き家具の製品選定は実施設計者が提案し、和歌山県庁と和歌山ゾーン構築総合ディレクターと協議の上決定
- 8) カウンターのデザインは「上質な和歌山」を表現するにふさわしいデザインを実施設計者が提案し、和歌山県庁と和歌山ゾーン構築総合ディレクターと協議の上決定
- 9) サンプル検討は基本的に和歌山県庁と和歌山ゾーン構築総合ディレクターと共に行うこととする